

◎本会の動き◎

☆2022年第48回経営ゼミナールに参加して☆

今回参加させて頂いた経営ゼミナールは化学工学会が提供する技術者の生涯学習の一環として1975年から続く歴史あるゼミナールです。第48回目となる今年は、「明日の日本を私が創る～VUCA時代を牽引せよ!」をテーマに化学会社、石油会社、エンジニアリング会社などのマネジメント層を中心に44名が参加致しました。

私は自身の担当業務が脱石炭の流れから事業構造転換の渦中にあり、今回のテーマであるVUCA時代に正に直面していたことから、新たな気づきを得たいと思い本ゼミナールへの参加を決めました。

ゼミナールは8月から11月にかけて4回のセッションで進められ、各分野において著名な講師の方々によるテーマに沿った講演とグループ討議で構成されておりました。現在も続く新型コロナウイルス禍での開催となりましたが、感染防止対策として検温、手指の消毒はもちろんのこと、講演会の開催様式だけでなく、食事や宿泊などについても細心の注意と可能な限りの対策を事務局の方々にて実施して頂いたおかげで、懇親会のみ第3回セッションまではオンラインでの実施、最終セッションの懇親会、その後の交流会については人数に制限はありましたが対面での実施となり、全セッションにおいて特に何の不安も感じることも無く参加することができました。

グループ討議はまず第1回セッションにおいて事前アンケートに基づいて同じテーマを課題と考えているメンバーを中心に6グループに分かれ、各自の課題について共有し合い、各グループで解決すべき課題を設定しました。第2回、第3回セッションでは、課題解決のヒント探しとして、ランダムな人選でグループを構成し、「働き方の多様化と意識改革」「リーダー像・リーダーシップとは」「技術継承と人材育成」「変革マインドをどう育てていくか」をテーマに多くの意見交換をおこないました。最終セッションでは



第1回セッションのグループに戻り、これまでのセッションで得た知識や気づきを基に設定した課題の解決に向けたグループ毎の決意宣言を纏め上げ、発表致しました。

我々のグループでは、VUCA時代を新大航海時代と捉え、この時代に成果を生み続けるためには、「強い船(組織)づくりが最も重要である」として、船長(リーダー)としてクルーとどう向き合い新大陸(ゴール)を目指していくべきかについて話し合い、ビジョンを自身の言葉で示し続けること、個人の価値観を尊重すること、能動性(主体性)を伸ばす人材育成をおこなうことを決意宣言として纏めることができました。



仕事の繋がりとはい直接の関係の無い同業種、同世代の方々と、このような仕事の悩みごとや問題点を共有する機会はこれまで無かったので、最前線でご活躍されている著名な講師の方々の講義や、回を重ねる毎に深まっていく参加者との討議の中で、多くの気づきを得ることができ、また自分の状況や悩みを皆さんに説明しそしてアドバイス頂くことで、自分自身の状況も整理でき、多くの刺激を頂くことができました。

更に、セッションが進むにつれて各参加者の方々との距離も縮まったことで、ゼミナール終了後も連絡を取り合っていくことを約束するなど、通常の業務とはまた違った貴重な人脈を作ることができました。

各セッションでは、VUCAの時代におけるリーダーのあるべき姿や、為すべきことのヒントとなるテーマにて多岐に亘る視点から計9回の講演を聴講させて頂きました。どの講師の方々からも溢れる情熱強い信念を感じることができ、その中でもそれぞれのテーマに沿った講演内容で、リーダーとしての考え方に限らず、実に多くのキーワードやアドバイスを頂き、多くの貴重な気づきを得ることができました。以降各々の講演について振り返ってみたいと思います。

【東海セッション 8/26～27

邦和セミナープラザ(名古屋)】

◆「レジリエンスの進め ～しなやかで強い個と組織を作るために～」

(株)ラポール 代表取締役 梶原美保氏

誰もが必ず経験する精神的な落ち込みから抜け出すために、レジリエンス=復元力、回復力を鍛えることが重要であり、その対

処法として、自ら形成した「思い込み」を開放すべく、自身の物事に対する捉え方の癖を知ること、自分の強みを再認識することが重要だと講演頂きました。更にその「思い込み」を心の中に住み着いているネガティブ犬として上手く飼育していくのが良いとアドバイス頂きました。感情的になりやすい自分自身を客観的に捉えて、合理的な思考を持つことが大切だと気付く機会となり、引き続き意識して取り組んでいきたいと思えます。



◆「VUCA時代の生き残りをかけて

～イノベーション・変革を起こし続けるためのアプローチ～

X-TANK コンサルティング CEO 伊藤嘉明氏

日経ビジネスの「次世代を作る100人」にも選ばれ、数々の大手企業の赤字部門の業績をV字回復させた経験も踏まえ、予測不能なVUCA時代に必要な考え方について講演頂きました。違和感を大事にすることで、そこから発想力と行動力が生まれ、それが、差異力となる。差異力が人生を切り開く源となる。VUCA時代のリーダーシップ7原則。など、具体的な体験を交えて教えて頂き、特に数々の企業での成功体験談からは大きな刺激を受け、「変化を拒むことこそリスク」など、心に残る言葉も頂き、今後の自分の行動を見直すきっかけにもなりました。

【習志野セッション 9/30～10/1

トーセイホテル&セミナー幕張(習志野)

◆「ミドルの活用, ミドルの意識改革をどう進めるか」

相模女子大学大学院 特任教授 白河桃子氏

働き方改革・ダイバーシティ・女性活躍を阻む現代社会のアンコンシャスバイアスに鋭いメスを入れ、総務省他多くの委員活動を通して広く発信されており、今回の講演でも“多様な人材と一緒に、多様なキャリアを使って、多様な役割の人生を生きる”ことが重要であり、そのために必要なスキルとは何か、我々が無意識のうちに同質性を好んで変化を拒む体質になってしまっている現状から、“リスクリング”を通して自分のキャリアを棚卸し、“心理的安全性”が保てる組織作りを通して、誰もがチャレンジできる環境、失敗しても次に活かせる環境を育むことが大切であるとご教示頂きました。自分の組織内で心理的安全性を高めるために自分に何ができるか考え、行動に移したいと思いました。

◆「強い組織をいかに作るか」

静岡ブルーレヴズ(株) 代表取締役社長 山谷拓志氏

アメリカンフットボール選手として日本選手権2度の優勝、現役引退後は指導者としてご活躍、更にフィールドをバスケットボール業界に移された後も運営組織会社の経営者として、黒字化運営、そしてB1リーグへの昇格といった輝かしい御経歴から、先入観を持たず、変えられないものに縛られず、変えられるものにフォーカスして取り組んで、個々の能力を最大限に引き出すことが重要である。そして、優秀なメンバーが居ないと嘆く前に、各人の躰きのポイントを共有して解決に導く助言を返すことで、各人の能力の発揮度を高めることができるのだと、熱く語られました。リーダーとして取るべき道を示して頂き、今後の日常業務から意識して取り組んでいきたいと思いました。



【関西セッション 10/28～29

ダイセル西播磨研修センター(相生)



◆「ディズニーランド伝説のトレーナーが明かすミッキーマウスに頼らない本物の指導力～一流のモチベーションアップ術～」

ディズニーランド伝説のトレーナー／最恐の上司 町丸義之氏
ベストセラー小説の「社会人として大切なことはみんなディズニーランドで教わった」で登場されるディズニー“最恐トレーナー”の異名の通り、目の覚めるような挨拶から講演が始まり、我々とのロールプレイにおいてもその勢いは止まらず、声を枯らすまで続けられ、その徹底ぶりに圧倒されました。サービスの良さを決めるのは、ゲストすなわちお客さんであり、そのために何をすべきか、自分たちがどう変わらなければならないのかを考えるこ

と。そして人に何かを伝えたい(変わってもらいたい)と思ったならば、まずは挨拶から始めること、それが相手にポジティブな気持ちで行動に移せる有効な懸け橋となること、更に伝える側もその成功体験によって一緒に喜びを共有できることで、その場に居る全員が更に変わっていきけるそんな感覚を、講演を通して実感することができました。

◆「小さな世界都市の実現と化学工業に期待すること」

前豊岡市長 中貝宗治氏

豊岡市長を4期務められ、地方都市の生き残りを懸けて数多くの施策に果敢に取り組みされた御経験を、実例を交えて御講演頂きました。大都市と地方都市が共存するために必要なことを、定量的な分析をおこなって市役所員の方々と危機感を持って共有し、地元の強みとは何か、差別化に繋がる施策について“環境と経済の共鳴”、“小さな世界都市の実現”のビジョンを掲げ、地元愛に満ちた計画に市民を巻き込んで実践されたお話を聞くことができ、脱炭素社会の実現という、自社にとっては厳しい課題にただ憂うのではなく、これまで存続できた歴史を振り返り、それを支えていた自社の強みを更に伸ばすことで、課題克服できるのではないのかと改めて気付かされ、再検証してみたいと思うようになりました。

◆特別企画「modern書art—あなたの心を優しく包む」

書家、遊筆町家 凛穂 木積凛穂氏

書家として、神官として、書を通じて人間愛や神秘的なスピリチュアル体験を経験されたお話を聞かせて頂きました。更に実際に我々も会場で書道体験をさせて頂き、“ありがとう”と心を込めて書きました。30分程度の時間でしたが、数十年ぶりに筆を持ち、心静かに白紙と向き合い、心が洗われる時間となりました。



【幕張セッション 11/25～26

クロスウェーブ幕張(千葉)】

◆「理念型経営で明るく楽しく元気のいい職場にする方法」

経営コンサルタント、(株)FiveVai 代表取締役 加藤芳久氏
 会社で働く様々な立場や世代の異なる人々は会社の理念実現に帰属しているという点で共通項を持っており、今輝いている会社は何処も、この理念浸透活動に力を入れおり、その実例を紹介頂

きながら講演頂きました。これまで強く意識していなかった会社の「理念」が多様な人材を結びつける共通項であると共に、主体的な行動を底上げするために必要なやりがいや成長実感、心理的安全性を支える根底になっているのだと説明頂き、良い気付きとなりました。更にこの理念の共有には普段から仲間とのコミュニケーションが重要であり、“意味のある雑談”の中で、この理念を浸透させていくことが有効だご教示頂きました。自社の理念を改めて振り返り、取り組んで行きたいと思えます。



◆「新たな資本主義とは？ その時あなたの会社は？～SDGsの本質から読み解く～」

SDGパートナーズ 代表取締役CEO 田瀬和夫氏

SDGsが目指す社会の共創を実現していくために必要な事業戦略は、企業活動において“きれいごとで勝つ”を大義とし、SDGsの正体は人類にとっての「ムーンショット」であると理解した上で、その対処理論として、「逆算思考(SDGsサンドイッチ理論)」と「連関思考(SDGsドミノ理論)」の2つの思考方法があると御紹介頂きました。一見我々の対極に居る方々の思考をも取り込んで、時代の潮目を見極め、誰もが幸せと感じる世界の実現に自分達は何ができるのか、利益を得ながらそれを社会の循環に回すこと、その担い手に自分達もなり得るのだと、気付かされ、心が熱くなりました。子供たちへもこのSDGs思考で、これからの社会の在り方について伝えていきたいと思いました。

【最後に】

ご講演頂きました先生方、充実したプログラムをご準備頂いた事務局と世話役の皆様へ厚く御礼申し上げます。また、グループ討論で悩みや気付きを共有させて頂いた第48期の皆様方にも改めて御礼申し上げます。今年もコロナウイルス感染症に対する感染予防対策で、講義後の懇親会はオンラインでの実施となりましたが、面着での講演聴講及びグループ討論を通じて皆さんの強い情熱を直で感じることができ、思い出深いゼミナールとなりました。48期の方々とはいき同窓として親交を継続、再会することを約束させて頂きました。最後に本ゼミナールが今後も末永く続き、化学業界並びに化学工学に携わる方々の交流と発展に寄与していくことを祈念致します。

(三菱重工パワーインダストリー(株) 貝嶋一剛)